

「体育大会も無事終わりました。次は、生徒総会です。」

生徒指導通心
第5号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和4年5月27日発行



今週に入り、すっきりしない日が多くなりました…。「朝は晴だったけど、午後から雨」「雨が降りそうで降らない」。こんな日々が続きそうですね。

そのような中、今週は、22日(日)に体育大会、25日(水)に選手推戴式が行われました。

体育大会は一日順延となりましたが、当日は暑い!と思わず声が出るほどの快晴の中で行われました。今年も、プログラムを縮小しての開催でしたが、短い練習期間にもかかわらず、素晴らしい体育大会となりました。某お笑い芸人ではありませんが「やればできる!」を体現してくれました。また、選手推戴式では、各部からの決意表明、校長先生や教頭先生、生徒代表から激励の言葉をいただきました。31日(火)の水泳競技を皮切りに熱戦がスタートします。3年生にとっては

最後の大会。出場する全生徒の健闘を祈ります!

学校の三大行事の一つが終わりました。これまでも、学校行事が終わる度に成長していく姿をたくさん見かけました。これから成長していく皆さんの姿にたくさん出会えることを楽しみにしています。

Let's try together!!
～ 仲間と協力し輝く笑顔を～



選手推戴式 選手宣誓全文

宣誓 我々選手一同は この2年間コロナの影響で練習できない日々もありました。しかし、今日まで一人ひとりができる限りの準備を進めてきました。

これまで支えてくれた方々への感謝を胸に、全力を出し切り、最後まで戦い抜くことを誓います。 令和4年5月25日 野球部主将 今鶴裡音

★人が捨てた【運】を拾っている!★

いよいよ、地区中総体が開催されます。特に、3年生の最後の大会にかける思いは並々ならぬものだと思います。ところで、皆さんは「運」という言葉をよく耳にするとおもいます。まずは、この話をどうぞ。



本拠地タイガース戦、四球となり一塁へ向かう途中、大谷がさりげなくした“ゴミ拾い”。数歩行ったところで視線を落とし、何かに気づくとさっと拾い上げ、そのまま左ポケットに入れた。どうやらグラウンドに落ちていたゴミを回収した様子。

実は、大谷翔平は意識してグラウンドのゴミを拾っているのだ。

2015年、チームの大先輩、稲葉篤紀(元侍ジャパン監督)が、ベンチ前のゴミを拾ったのを見て感動して、それを真似るようになったのだ。彼自身はそれを「人が捨てた”運”を拾っている」と表現した。

「ゴミを拾う」のは小さな行為だが、大谷には自身の平常心を保ち、冷静にプレーするためのキーアクションになっている。

以前、甲子園常連校の沖縄県興南(こうなん)高校の我喜屋(がきや)監督という方とお会いする機会がありました。興南高校の野球部は、毎朝ゴミ拾いを行っていると聞きました。

「ゴミを拾う」という動作には、いろいろな意味があると思います。大谷選手や我喜屋監督が言うように「運をひろう」という方や「気づき」を学ぶという方もいらっしゃいます。しかし、上の文にもあるように「意識して」からのスタートが、継続することで「無意識」になり、自分の形(自然な姿)として現れてくるように感じます。

さあ、自分の周りを見てください。ゴミを見つけたら、拾いましょう。早速「運」を拾いましょう。この瞬間からスタートです!



強いチームに必要な3条件

- 1 実力～日々の練習で身につける。
- 2 運～24時間の生活でたぐりよせる。
- 3 勢い～勝つことで身につける。